

### 峡東地域の広域的課題と検討状況（抜粋）

項目	平成 28 年度の検討内容(課題と今後の方向性等)
救急医療に関すること	<p>【救急医療関係者会議（12/1）】</p> <p>○かかりつけ医や救急病院勤務医の高齢化により、今後救急医療体制の維持が困難となることが予想される。安定した制度運営のためには救急医を確保するための対策を講じる必要がある。</p> <p>○一次救急、二次救急の適正利用が徹底されていない現状がある。住民が各々の役割を理解し、適正な救急利用ができるよう、引き続き広報活動等により住民への情報提供を継続する必要がある。</p> <p>○在宅療養者や高齢者福祉施設入所者等へ関わる医療・福祉関係者間で救急時の対応を情報共有するとともに、それぞれの対応力を高めることが必要である。</p>
災害医療に関すること	<p>【大規模災害医療救護情報伝達訓練（10/21）、事後会議（1/12）】</p> <p>○経年的な訓練を重ねる中で、医療機関、関係機関・団体との情報伝達方法等の連携は進んできている。今後も EMIS 入力者の育成を行い、EMIS を活用した情報共有を更に進めていく他、非常用電源の整備を行う等災害時の体制づくりを強化する必要がある。</p> <p>【災害時要援護者支援検討会（1/27）】</p> <p>○難病患者等災害時に医療継続が必要な者に対する具体的な支援方法の検討を行う必要がある。</p>
在宅医療に関すること	<p>【在宅医療広域連携会議（7/7、10/6）】</p> <p>○管内の在宅医療推進状況の実態把握を実施し、緊急時・急変時の対応について検討した。在宅医療を推進するためには、医師や看護師を確保し往診や訪問診療、訪問看護等の体制強化を図ることが必要である。</p> <p>○在宅医の不在時や夜間・緊急時の診療サポートやバックベッドの確保等の救急医療体制も考慮した体制整備が重要である。</p> <p>○在宅医療・介護連携について各市の推進状況と広域的課題を協議した。引き続き推進を進める。</p> <p>【在宅医療多職種人材育成研修会（12/14）】</p> <p>○看取りをテーマとした実践報告を基に、多職種間の情報共有を実施。今後も在宅医療の推進のための広域的人材育成の場を継続していく必要がある。</p>